

忍 者 研 究

三重大大学の

地域から世界へ！



三重大大学人文学部・教授
山田 雄司 Yamada, Yuji
[URL] <http://onryo.syuriken.jp/>

◎ 研究体制の構築

三重大大学の忍者研究は、2012年に人文学部が上野商工会議所・伊賀市と連携して「伊賀連携フィールド」という組織を作ったことから始まりました。

古文書調査と同時に市民講座や三重テラスでの講座を行い、さらには系系組織の伊賀研究拠点、他学部とも共同研究を行って、文部科学省、東京・三重・宮崎で忍者展を開催しました。2017年には国際忍者研究センター、2018年には国際忍者学会を設立し、研究を進展させてきました。

三重大大学全体で
忍者研究に取り組んで
るんだね



2012年 伊賀連携フィールド設立

2016年 東京・三重・宮崎で忍者展開催



研究室の在学生・卒業生とともに日本科学未来館の忍者展を体験

2017年 国際忍者研究センター設立

2018年 国際忍者学会設立

◎ 忍者の実像

各地の古文書や古記録、忍術書等から、新たな忍者像が浮かんできました。黒装束で手裏剣を投げてドロロと消える忍者ではなく、情報戦略に長け、困難に打ち勝って耐え忍んで生き延びる忍者が、実際に近かったようです。

戦国時代には城ののっとり、火術を駆使した焼打ちなどをし、江戸時代には城下町で武士として暮らして、治安維持に携わりました。そして、ときには探索にも出かけ、江戸時代が終わると、忍者もその役割を終えました。



米国議会図書館での調査



忍者のイメージは
歌舞伎などにより
作られていったん
だって



◎国内外での忍者講座

研究に加え、これまで国内外で多数講座を行ってきました。伊賀で毎月の「忍者・忍術学講座」、東京・三重テラスで年2回の「忍者・忍術学講座 in Tokyo」はさまざまな講師を招いて好評を得ています。現在ではYouTube配信により行っています。

海外でも、2013年モンゴル・ウランバートルでの講座を皮切りに、これまで世界19カ国で、国際交流基金の協力をいただいて講座・シンポジウムを開催しました。



ブカレストのルーマニア・アメリカ大学での忍者講座

この講座を聴いて、
三重大に来た留学生も
いるんだって



◎大学での教育活動

教養教育、人文学部で忍者の授業を開講しているほか、2018年には人文社会科学部研究科の専門科目に「忍者・忍術学」を設置し、史料読解に加え、甲賀伴党宗師家川上仁一先生の指導のもと、伊賀山中で実践演習も行っています。これまで2人の修了生を輩出し、それぞれ伊賀・甲賀で活躍しています。

また、大学公認の忍者部では、忍術書の解説、忍術の再現、手裏剣打ちの練習など、学生が主体的に活動しています。



手裏剣打ちの練習をする忍者部



伊賀山中で大学院忍者学実践演習の授業

忍者になりたいくて
三重大に入学した
学生もいるんだよ



◎忍者・忍術の開く世界

三重大大学の取り組みは、新聞・テレビ・インターネットなど、数多くのメディアで紹介され、世界で唯一、忍者研究を行う高等教育機関として認知されるようになりました。そして、子供向けから研究書まで多くの本を出版しています。

忍者の知恵は、日本の風土の中から生み出されてきたもので、持続可能な社会を作り上げていく上で、きっと役立つでしょう。今後さらに研究を深め、忍術を生活に生かせるようにしていけたらと考えています。



クロアチアのテレビ局から取材を受ける様子



これまで出版した書籍

